



- ①建設が進む復興祈念公園
- ②石碑には「いま、碧き海に祈る 愛するあなた 安らかなれと」と刻まれています
- ③保存か解体か、防災庁舎の在り方が検討されています

森里海ひと

いのちめぐるまち南三陸

2011年3月11日に発生した大地震と大津波によって、宮城県南三陸町のまちは壊滅的な被害を受けました。伊佐市は、震災発生直後から物資の支援や職員の派遣を続け、南三陸町の復興を全力で後押ししています。



佐藤 仁 町長

あの日を忘れない

令 和元年12月17日、建設中の復興祈念公園のうち「祈りの丘」と「復興祈念のテラス」が開園しました。志津川湾を臨む祈りの丘には、犠牲になられた方々の名簿が収められ、鎮魂と祈りを捧げる場所になっています。開園式にて、佐藤仁町長は次のように式辞を述べました。

『あの日は清冽な空気が痛いほどの寒さ厳しい朝でした。特段と変わったこともない普通の1日が始まりました。午後2時46分。それまで誰も経験したことのない猛烈な大地の鳴動、その後町を襲った巨大な津波。私たちは、のちに千年に一度と言われる災害、東日

本大震災を経験することとなりました。南三陸町における死者の数は620名、また、未だその行方が知れない方は210名を超えています。本日、ようやく、犠牲となられた方々のお名前を記した名簿を安置できることとなりました。あの日から今日まで、3千2百日と3日。決して平坦な道ではありませんでした。多くの町民が、臉を腫らし、額に汗し、また、ご支援いただいた皆さま方に感謝し、苦闘した日々の積み重ねが3千2百回あったのだと、そう思っております。——中略——

あの日から私たちは、暮らしや生業を再生し、安心して暮らせる町を取り戻すべく、日々努力してまいりました。そうした復旧・復興の礎は、言うまで



もなく、犠牲となられた方々、今日・明日を生きたかった方々に対する思いであります。私たちは、決してこのことを忘れてはなりません。年が明ければ、すぐにまた、3月11日が巡ってきます。多くの方々がこの地において、東日本大震災の犠牲となられた方々お一人お一人に思いを馳せ、また、復興した町の未来を想像していただけることを切に願っております。』

復興とその先へ

震災から9年。南三陸のまちは大きく変わりました。山を切り拓いて造成した高台の土地への住宅再建、

さんさん商店街・ハマーレ歌津など商業施設のオープン、町役場・病院・消防署・卸売市場などの公共施設の本設移転などが次々に完了。三陸縦貫自動車道の開通によって、近隣市町との交通アクセスも格段に良くなりました。



株式会社南三陸まちづくり未来で、観光業

務に携わっている佐藤潤也さんは「震災から立ち上がり、今があるのは本当にたくさんの方々への支えのおかげです。私自身、まさか津波が来るなんて思っていませんでした。あの日以来、災害に対する備えは忘れていません。落ち着いた街並みが戻るにはもうちょっと

時間が必要ですが、ぜひ自然豊かな南三陸町へ遊びに来てほしいです」と話します。また、漁師の高橋直哉さんは「大震災によって当たり前前に在ったものを失うことで、当たり前前にある資源の尊さを知りました。南三陸特有の地形が織り成す自然資源を学び、活用して南三陸の魅力を発信します!」と、漁業振興と自然体験活動に全力を注いでいます。南三陸の方々言葉には、全国からの支援に対する感謝と、ふるさとへの愛情に溢

れています。南三陸復興のシンボル「復興市」も、4月の開催で100回目の節目を迎えます。この持続力が、まちに暮らす人々が元氣な証です。東日本大震災から10年が経過する令和2年度は、復興庁により「復興・創生期間」の最終年度と位置付けられており、被災地にとって大きな意味を持ちます。震災を乗り越えて、新しく生まれ変わった南三陸町を、伊佐市はこれからも応援していきましょう。



写真提供：南三陸町企画課



- ④平成27年10月、「災害時における相互応援協定書」を締結しました
- ⑤海の幸がつくる明るい笑顔（復興市）
- ⑥ラムサール条約湿地に登録された、美しく、豊かな海
- ⑦さんさん商店街には多くの観光客が訪れます

『新型コロナウイルス感染症に備えて』

[2月17日時点の厚生労働省の情報をもとに作成]

新型コロナウイルス感染症が、日本でも確認されています。過剰に心配することなく、季節性インフルエンザと同様に、**咳エチケットや手洗い**などの感染症対策に努めていただくようお願いします。

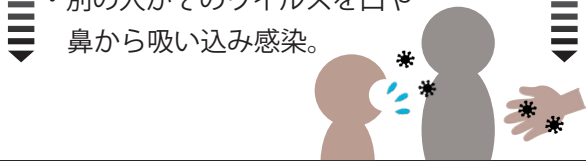
● コロナウイルスとは…人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです

人に感染症を引き起こすものは、これまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがある「重症急性呼吸器症候群コロナウイルス (SARS-CoV)」と「中東呼吸器症候群コロナウイルス (MERS-CoV)」以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。

● 感染経路は…現時点では飛沫感染と接触感染の2つが考えられます

1 飛沫感染

- ・感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出。
- ・別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染。



2 接触感染

- ・感染者がくしゃみや咳を手で押さえる。
 - ・その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く。
 - ・別の人がその物に触ってウイルスが手に付着。
 - ・その手で口や鼻を触って粘膜から感染。
- ※主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

● 帰国者・接触者相談センターにご相談いただく目安

次のいずれかに該当する人

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く人
(解熱剤を飲み続けなければならない人も同様です)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある人

※次の人は重症化しやすいため、上記の状態が2日程度続く場合は、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

- ・高齢者
- ・糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患等)の基礎疾患がある人や透析を受けている人
- ・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている人



CHECK!

現時点で、新型コロナウイルス感染症以外の病気の人が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等にご相談ください。

帰国者・接触者相談センター

◎土日祝・昼夜問わず

大口保健所 ☎(23)5103

※閉庁時は守衛が担当へ引き継ぎます

新型肺炎に関する 厚生労働省の相談窓口

☎0120・565653

受付時間 9時～21時



感染症対策 へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

① 手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのぼすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

② 咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする
咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する（口・鼻を覆う）
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



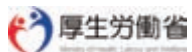
1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う



厚労省 検索





あっぱれ!
伊佐盛
イサモリ

狩行 盛幸さん (68)

子どもの喜ぶ顔が最高のご褒美です

冬 になると、菱刈下名の小高い場所にキラキラと輝くイルミネーションが出現します。

毎年、11月下旬から1月上旬の期間限定で自宅付近にイルミネーションを設置して、観る人を楽しませている狩行さん。「今シーズンはテレビ局が2回も取材に来たよ」と教えてくれたように、伊佐の冬の新たな名所として、県内で注目を集めています。

8年前、地域を明るくしたいと自宅付近にイルミネーションを設置したところ、「遠くからでもきれいに見える」と大きな反響があったといいます。なにより子どもたちがうれしそうに走り回る姿に「やりがい」を感じて、毎年続けているとのこと。

「イルミネーションにはテーマがあって、去年は西郷どん、その前は熊本への復興エールでした。でも、今年は

考えすぎちゃって決められなかったんだよ(笑)」

毎年、LED電球の数を増やしながら飾り付けもグレードアップ。今回は約11万5千球の電飾の設置に54日間、撤去には約2週間もかかったとのこと。竹灯籠や廃材を再利用したオブジェは狩行さんの手作り。「どうすれば訪れた人を楽しんでもらえるか」と考え続け、子ども向けに

キャラクターを取り入れたり、カップルのためにハート型モニュメントを制作したりするなど、その探求心は尽きません。

「高所作業などは、地域の若い方々がお手伝いしてくれます。皆さんにもっと楽しんでもらえるよう次回も開催したい」と、張り切っています。※今冬のイルミネーション点灯は終了しています。



▲両側に光の道が続く



▲光がきれいに見えるよう、竹の加工にもひと工夫